

原田市長の

さんぽみち

散歩道



サッカーW杯が南アフリカで開催され、世界中のサッカーファンが熱狂している。8年前には、エコパスタジアムで、1次リーグ2試合、準々決勝が行われ、袋井市民も熱狂の中にあつた。

とりわけ、市内の4中学校では、それに応援する国を決め、色々なスタイルで精一杯のエネルギーを送って大会を盛り上げてくれた。当時の中学生も今や20

歳を越え、立派な青年になって各所で今回の大会を見ながら、あの時の感激を思い出していることと思う。

先日、国家公務員一種の新任研修の講師を務めた。受講者のほとんどが、この春、大学を卒業したばかりの新人で、これから国の職員として責任ある仕事をつとめることへの強い意気込みが感じられ、質問も時間不足するほど多く出て、充実した講義ができた。

その会場へ向かう途中、JR横浜駅で白い杖を持った目の不自由な方が雑踏に苦慮しながら階段を登りかけた時、若い女性が近づき、横に並んで一緒に歩を進めつつ声に接した。ふと自然に何のつもり

いもなく、やさしさが表現できることに感心した。

一方で、近年は大学生の海外留学希望者が減り、飛行機のパイロット養成所では、国際線への希望者が少なくなったと聞いている。その理由は、両方ともに、国内にいる方が楽であり、あえて困難に挑戦したくないというところにある。

若者の特権は、「感激」と「意気込み」と「献身的なやまこみ」であり、「挑戦」とあると思う。

幕末の坂本龍馬も時代へ挑戦し、野球のイチローや松井秀喜は大リーグに挑み、日本の企業も生産拠点を次々に海外へ移している。

今の日本にとって、仮に失敗しても再びやり直せるような社会の仕組みの構築とともに、何にでも挑戦して若者の存在が求められていると思う。

「挑戦こそ若者の特権」

いつの時代においても、若者が現状に満足しないで、あらゆる分野で新たな可能性を求めて挑戦してきたことが世の中に活力を生み、それが進歩や発展につながってきた。

季節の健康レシピ

暑い時期、デザートにぴったり

アーモンドのホワイトプリン

●材料(4人分)

- 水 大さじ2
- 粉ゼラチン 5g
- 牛乳 200ml
- 生クリーム 100ml
- A [グラニュー糖 ... 20g
- [アーモンドパウダー ... 15g
- (ミント 適量)

『毎月19日は、食育の日』

●作り方

- ①カップに分量の水を入れて粉ゼラチンをふり入れ、ふやかしておく。
 - ②鍋に牛乳とAを入れ、弱火で煮立ててから1分弱加熱し、混ぜ合わせる。①のゼラチンを加えて煮溶かし、火を止め、生クリームを加える。
 - ③ボウルに氷水を用意し②の鍋底を冷やし、とろみがつくまでかき混ぜて粗熱を取った後、器に注いで冷蔵庫で冷やし固める。
- ※好みで、ミントを飾る。



●栄養価(1人分)

エネルギー181kcal/たんぱく質4.9g/脂質12.5g/カルシウム71mg/鉄0.2mg/食物繊維0.4g/塩分0.2g

●薬膳まめ知識

アーモンドには、肺をうるおしてせきを鎮めたり、大腸の乾燥をやわらげてお通じを良くする働きがあります。

表紙のことは

6月12日、同笠海岸で、「親子スポーツ教室」が行われました。「砂浜で遊ぼう」をテーマに行われたこの日は、幼稚園から小学2年生までの親子63組が参加。よく晴れた青空のもと、さわやかな潮風を受けながら、砂浜での宝探しや、手つなぎリレーなどに挑戦。親子のコミュニケーションを深めました。運動の後は、夏を先取り、砂浜で、参加者全員が大きな砂山を作って楽しみました。



■市民の動き(平成22年6月1日現在)

人口/86,880人(前月比+28人) 世帯数/30,916世帯(前月比+31)

袋井市の木・花・鳥(平成22年5月16日制定)

市の木:キンモクセイ



庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。

市の花:コスモス



秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。

市の鳥:フクロウ



鎌倉時代の遺塵和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、歴史的な関わりが深く、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。